

## メディア：奴隷根性、ヘイトスピーチ、愚民政策

平和統一 NEWS No. 93 (2016/6月号)

渡辺 久義

いつかテレビで、クマの放牧の様子を見たことがある。その説明によると、土地を柵で囲って何頭かのクマを放っておくと、ボスが決まり、そのボスがある特定のクマをいじめる。すると他のクマたちが一斉に、その同じクマをいじめるのだという。これは我々の社会でも同じで、特に、少年たちの中のいじめの構造がそうになっている。被害者が自殺したり、殺されたりする悲惨な場合がある。最近の顕著な例に「小保方さん叩き」がある。これはどう見ても、小保方さん一人に責任を負わせるべき問題ではないが、NHKなどのメディアがこぞって、そういう方針を取り、それがまた、ネット上で一斉に非難され、彼女は徐々に名誉を取り戻しつつあるようだ。

何が言いたいのかというと、実は、我々の世界の現状がそうになっている。我々のブログ ([www.dcsociety.org](http://www.dcsociety.org)) の、5/24「悪魔化の危険；西側ニュース・メディアの崩壊」と5/21「ロシアが全面戦争から世界を救っている」を読んでいただくとそれがわかる。「悪魔化」というのは、米・NATO が特定の国家や国家リーダーを攻撃するために、メディアを使って悪い印象をつくり出し、宣伝することである。いわゆる“ヘイトスピーチ”の最たるもので、最近の例でいえば、サダム・フセイン（イラク）、カダフィ大佐（リビア）に続いて、現在はプーチンとアサド（シリア）に集中している。批判的能力のない人は、これをそのまま受け入れるが、宣伝も度重なると、ちょっとおかしいと誰もが思うだろう。“愚民”はいつまでも愚民ではない。

クマのボスは米政府であり、その忠実な番頭がメディアだと思えばよい。これを疑う人は、メディアの世界を知り尽くしたロバート・パリーの「悪魔化の危険：…」を読んでみればよい——「知識人の中に、最近のニューヨーク・タイムズの、ロシアやウラジミール・プーチンについての記事を見て、読者はこれを、客観的でバランスの取れた内容と考えるだろう、と予想する者がいるだろうか？ むしろそこに語られているのは、誰にもわかる、軽蔑と嘲笑の混じった話ではないだろうか？ そしてこれは、ワシントン・ポスト、…など、どんな米主流ニュース媒体でも同じであろう。」

そして彼は、ジャーナリストの職業倫理に触れて、こう言っている——「私が 1970 年代末

にワシントンへやってきた時には、ホワイトハウスや国務省の公的な路線について、ジャーナリストの間に、もっと多くの懐疑的な見方があった。実際、報道官や高官たちの言っていることは何でも、単純に受け取らず、本当か確かめてみるのが、ジャーナリストの自負の証であった。…しかし、その伝統も失われてしまった。NY タイムズも W ポストも、米政府が“敵”に投げつけた非難を、何であれ単純に受け入れている。騙され易さを越えて、我々の間には、本当の証拠を見たとき主張する者に対する敵意さえある。…主流メディアのジャーナリストたちは、公式物語の背後に一つになつて従つた。彼らは、政府の物語を覆すに足る証拠を、無視したり隠したりした。」

この最後で言っていることは、クマのボスが、ある特定のクマを“敵”とみなした場合、証拠を示してそれに反論するクマをさえ敵視することが、ジャーナリストの間で起こっているということである。こうなると、メディアは信用できないどころか、腐った奴隷根性の見本である。これは新聞にとつても危険で、気づいた読者はますます離れるだろう。

私自身の経験だが、ある付き合いのある新聞が、2014年7月17日の、ウクライナ東部でのマレーシア航空機撃墜事件を、アメリカとその同盟国の宣伝通りに、ロシア（プーチン）がやったと断定するような記事を出したので、私は忠告した。その後、アメリカの主張が間違いである証拠は次々と出ているが、正しいとする証拠はほとんどない。これは他の新聞でも同じである。「逆の断定もできないではないか」と言うかもしれないが、百パーセント断定できる刑事事件はほとんどないだろう。多方面からの証拠の集積から、限りなく米見解に疑惑が生ずるならば、そのように書くべきである。クマの囲いの中の倫理が、倫理であるかのように振舞ってはならない。

これは明らかに、プーチンを“悪魔化”するために仕組まれたもので、プーチンは、クマの囲いの中の倫理を否定しているがゆえに、不都合な人物であるにすぎない。彼はこのクマのボスの暴力による秩序、つまり NWO の代わりに、人間の倫理秩序を目指そうと呼びかけているのであって、フィニアン・カニンガムの言うように、ロシアは「全面戦争から世界を守っている」恩人である。今後、万一、ロシア国境で戦争が始まったら、米 - NATO は、ロシアが先に攻撃したと言い、メディアはそれを繰り返すだろうが、我々は真偽を自分で判断しなければならない。

今日（5/27）始まった G7 伊勢志摩サミットは、ドイツのシュタインマイヤー外相が言ったように（本当は日本が言うべきだ）、ロシア抜きで、世界の何を解決しようというのだろうか？